

Leslie[®]

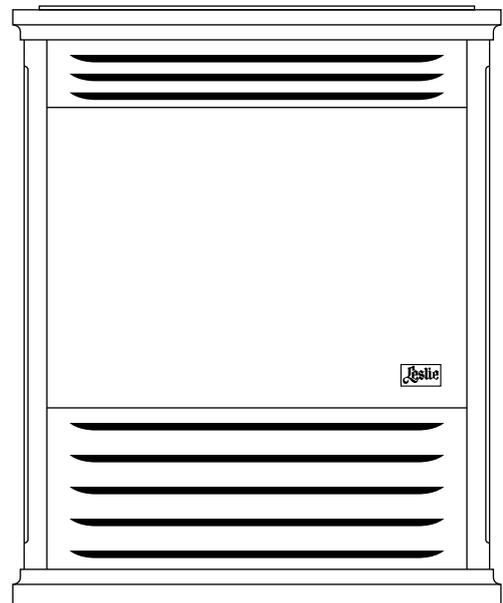
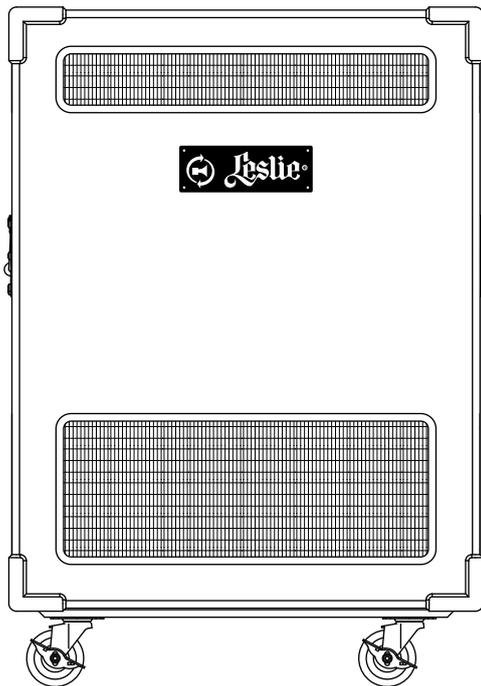
SPEAKERS

Innovative Sound Systems

この度はレスリー 3300P、3300WP をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をお読みください。

お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。



Model 3300P, 3300WP

取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- お読みになった後は、必ず保存して下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
- 本書では、危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	警告	この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	この表示内容が無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。

警告



電源は必ず交流 100V でご使用下さい

交流 100V 以外の電圧でご使用になると、火災や感電の恐れがあります。



異常を感じたら電源を切して下さい

万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店やスズキ各営業所にご連絡下さい。

異常状態でのご使用は火災・感電の原因となります。



異物が入ったときは、電源プラグを抜いて下さい

製品に異物（硬貨や針金）や液体（水やジュースなど）を入れないようにして下さい。

故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

万一、異物が内部に入ったときは直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡下さい。



改造・分解は危険です

改造や分解はしないで下さい。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



濡れた手で触れないで下さい

濡れた手で電源プラグ・コード及び本体に触れないで下さい。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



湿気の多い場所は避けて下さい

水分や湿気の多い場所では絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



ほこりの多い場所は避けて下さい

ほこりの多い場所での使用は避けて下さい。故障や発火の原因になることがあります。

また電源プラグにほこりが付いている場合、そのまま使用すると感電などの原因となりますので、ほこりを拭き取ってからご使用下さい。



キャスターに巻き込まれないように

車輪を指などで触れたり、製品の進行方向に足や手を置いたりしないで下さい。キャスターに巻き込まれたり、衝突したりして、お客様がケガをする危険性があります。

キャスターのロック及び解除時に手や指をはさまないでください。



● 次のような場合はただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡下さい。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物や液体が中に入ったとき
- 機器が雨その他で濡れたとき
- 機器に異常が発生したとき

⚠ 注意



熱くなる場所を避けて下さい

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用、保管は避けて下さい。変形・故障の原因になることがあります。



放熱を妨げないで下さい

設置時は放熱をよくするために、背面と壁や他の機器との間に 20cm 以上の隙間をあけて下さい。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



衝撃を与えないで下さい

製品をぶつかけたり、落としたりしないで下さい。製品に傷を付けるだけでなく故障の原因になります。



製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないで下さい

製品が破損する原因にもなりますし、製品が転倒したりしてお客様がケガをする危険性があります。



不安定な場所に置かないで下さい

製品を不安定な場所に置かないで下さい。転倒・落下して、お客様がケガをする危険性があります。



移動の際には接続ケーブルをすべて外して下さい

移動させるときは電源プラグ、接続ケーブルはすべて外して下さい。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



使わないときは電源プラグを抜いて下さい

ご使用の後は電源スイッチを切ってください。長時間使用しないときや落雷の恐れがある場合は、製品保護のためコンセントから電源プラグを抜いて下さい。



コードは引っ張らないで下さい

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないで下さい。

また電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードではなく、必ず電源プラグを持って引き抜いて下さい。電源コードが傷つき、感電などの原因になり大変危険です。



お手入れは柔らかい布で

お手入れは柔らかい布で拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないで下さい。



接続時は電源を切って

各機器との接続時は、接続するすべて機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続して下さい。

電源を入れる前に音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害を引き起こす恐れがあります。



歪ませないで

スピーカーユニットに過大な入力に加え、音が歪んだ状態では使用しないで下さい。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



大音量に注意

不快に感じるような大音量では、使用しないで下さい。この機器は大音量での使用により、聴覚障害を引き起こす恐れがあります。



注意：感電の恐れありキャビネットをあけるな

ATTENTION: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR

WARNING:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK,
DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

目次

安全上のご注意.....	2
目次.....	4
本機の特長.....	4
仕様.....	5
ブロックダイアグラム.....	5
各部の名称とはたらき.....	6
接続例と初期設定.....	8
● 11 ピンレスリー端子付き 1 チャンネルモデル.....	8
● 11 ピンレスリー端子付き 3 チャンネルモデル.....	8
● 8 ピンレスリー端子付 1 チャンネルモデル.....	9
● レスリー端子を持たないモデル.....	9
● 各端子を同時に使用する.....	9
応用操作.....	10
工場出荷時の設定に戻す.....	11
サービスについて.....	12

本機の特長

- 本機は中型サイズながらドラムローター用に38cm 220Wハイパワースピーカー、ホーンローター用には高磁力で定評のネオジウムマグネットを搭載した120W ホーンドライバーを使用しています。内蔵された総合300W（ドラム220W、ホーン80W）のハイパワーアンプとのコンビネーションで厚みのある力強いサウンドを実現しています。
- 真空管プリアンプを搭載。真空管特有の温かみのあるチューブサウンドが味わえます。従来のレスリースピーカーでディストーションサウンドを得るためには過大な信号を入力し、パワーアンプやスピーカーをオーバードライブする方法が一般的でした。しかし、この方法では大音量でしか求めるディストーションサウンドが得られない上に、スピーカーやホーンドライバーを壊してしまう危険性があります。本機では音量にかかわらず、お好みのディストーションサウンドが得られます。
TUBEをOFFにすることでクリーンなソリッドステートサウンドにも切り替えることができます。
さらにTUBE DRIVE LEVELとTUBE MODEの2つのコントロールによりソフトディストーションからヘビーなハードディストーションまで幅広く効かせることができます。
- スタンダードな11ピンソケットに加えてXK-1などの8ピンインプット、さらにフォンジャックインプットの3種類の入力端子を装備。
- ブラシレスDCサーボモーターを採用。電源周波数や電圧変動の影響を受けず、さらにローターの回転立ち上がり、立ち下がり、回転数をお好みにより調節することができます。

形式

1-channel (Rotary Channel Only)
Real 2-Rotor

パワーアンプ出力

Horn Rotor

80Wrms

Drum Rotor

220Wrms

(total power 300Wrms)

スピーカー

Rotary Horn Driver

Ferro-Fluid

Woofer

Massive 15" (38cm) Woofer

オーバードライブ

Vacuum Tube 12AX7 x 1

Tube Drive Level, Tube On/Off, Tube Mode

コントロール

EQ: Bass (60Hz \pm 10dB), Middle (1.7kHz \pm 6dB),

Treble (8kHz \pm 10dB)

Volume, Horn Level, Sub Woofer Volume

モーター

Brushless DC Servo Motor x 2

ローターアジャスト

Horn:

Rise Time, Fall Time, Slow Speed, Fast Speed

Drum:

Rise Time, Fall Time, Slow Speed, Fast Speed

LED

Fast, Slow, Stop

接続端子

Leslie 11-Pin Socket with Stationary L,R through Output,

Leslie 8-Pin,

Line Input 1/4", imped. 10k Ω sensitivity 100mV (-18dBu),

Line Out / Sub Woofer Out 0dBu,

Foot Switch (Slow/Fast/Stop)

AC Input

定格消費電力

210W

寸法

3300P

63(W) x 52(D) x 90(H) cm / 24.8(W) x 20.5(D) x 35.4(H) inch

3300WP

64(W) x 52.7(D) x 79.5(H)cm / 25.2(W) x 20.7(D) x 31.3(H) inch

重量

3300P

57kg / 125.7lbs

3300WP

51kg / 112.4lbs

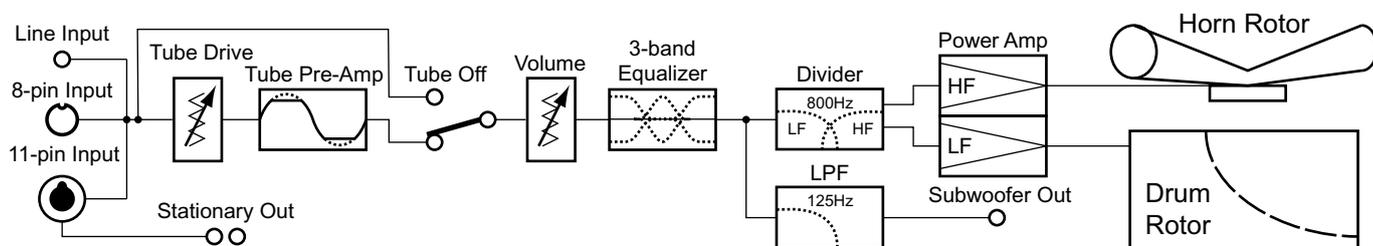
別売品

Leslie Cable 11-Pin

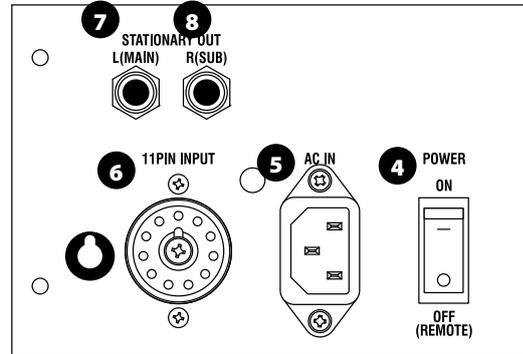
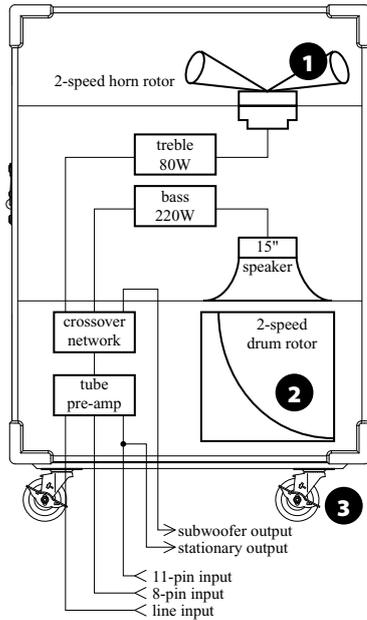
Leslie Cable 8-Pin (LC8-7M)

Foot Switch FS-9H

ブロックダイアグラム



各部の名称とはたらき



●前面

1. ホーンローター (内蔵)

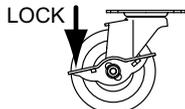
高音を再生するローターです。

2. ドラムローター (内蔵)

低音を再生するローターです。

3. キャスター

移動用のキャスターです。本機のご使用時には前2輪をロック (ON を押し) してください。



3300WP にはキャスター、ハンドル、コーナープロテクターは装備されておりません。設置は、凹凸のない平らな床に行ってください。

●パワーパネル

4. POWER スイッチ

本機の電源をオン/オフするスイッチです。11 PIN INPUT 端子 (6) に接続された機器によって電源のオン/オフを自動的にを行う場合は、OFF(REMOTE) にしておきます。

5. AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

6. 11 PIN INPUT 端子

11 ピン仕様の機器を接続するための入力端子です。

7. STATIONARY OUT L(MAIN) 端子

8. STATIONARY OUT R(SUB) 端子

11PIN INPUT 端子 (6) に接続された機器のステーションナリーチャンネルの音声を出力する端子です。7 は左 (メイン) チャンネル、8 は右 (サブ) チャンネルの音声をを出力します。

●コントロールパネル

9. LINE INPUT 端子

11 ピン及び 8 ピン端子を持たないオルガンや、シンセサイザー等のためのラインレベルの入力端子です。

10. TUBE DRIVE LEVEL つまみ

チューブプリアンプに送るレベルを調節します。時計回りに回すと歪み量が増し、反時計回りいっぱい回すと、チューブプリアンプ回路がバイパスされます。

11. VOLUME つまみ

本機全体の音量を調節します。

12. TUBE MODE つまみ

チューブ・プリアンプの特性を調節します。時計回りに回すと真空管のゲインが増し、その結果歪み量が増します。

13. BASS つまみ

低音をブースト/カットします。

14. MIDDLE つまみ

中音をブースト/カットします。

15. TREBLE つまみ

高音をブースト/カットします。

16. HORN LEVEL つまみ

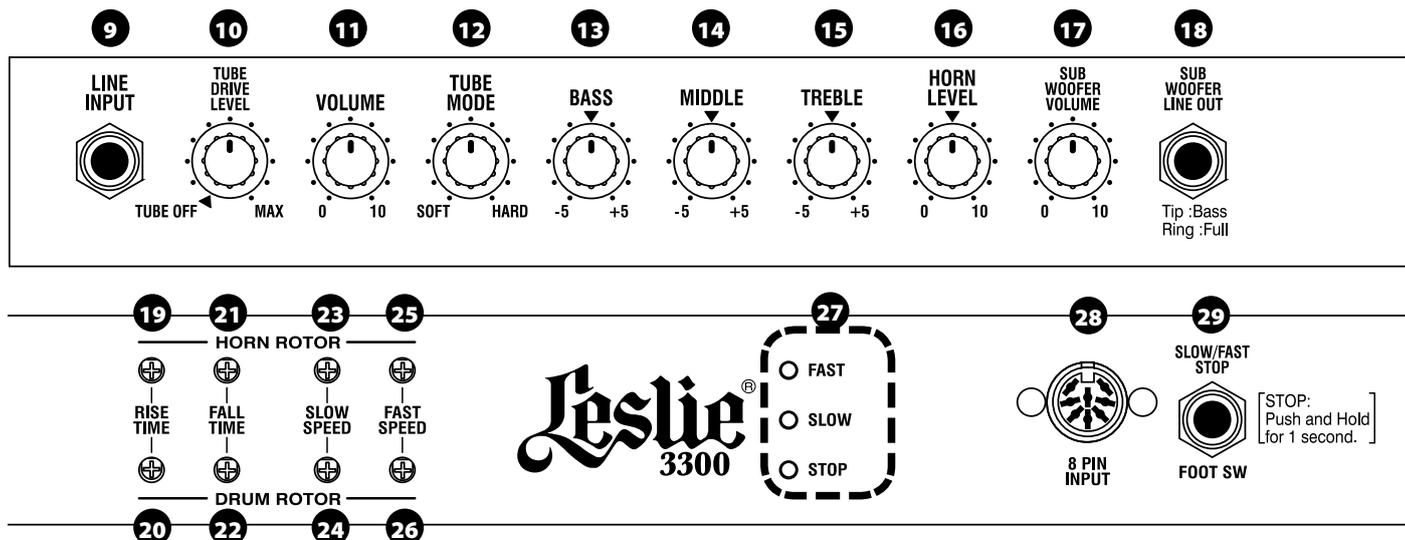
ホーンローターの音量を調節します。

17. SUB WOOFER VOLUME つまみ

SUB WOOFER LINE OUT 端子 (18) の出力レベルを調節します。

18. SUB WOOFER LINE OUT 端子

パワー・サブ・ウーファーへの出力端子です。この端子の「チップ」は 125Hz 以下の低音のみ、「リング」は全音域を出力します。



●トリマー

トリマーは各ローターの回転特性を微調整します。調整には幅 2.5 から 3mm のマイナスドライバーをご使用ください。

19. HORN ROTOR RISE TIME トリマー

20. DRUM ROTOR RISE TIME トリマー

ローターの回転が上がる時間を調節します。スローからファースト、ストップからファーストのそれぞれに作用します。時計回りに回すと時間が長くなります。19 はホーンローター、20 はドラムローターを調節します。

21. HORN ROTOR FALL TIME トリマー

22. DRUM ROTOR FALL TIME トリマー

ローターの回転が落ちる時間を調節します。ファーストからスロー、ファーストからストップのそれぞれに作用します。時計回りに回すと時間が長くなります。21 はホーンローター、22 はドラムローターを調節します。

23. HORN ROTOR SLOW SPEED トリマー

24. DRUM ROTOR SLOW SPEED トリマー

ローターのモードがスロー時の回転数を調節します。23 はホーンローター、24 はドラムローターを調節します。

25. HORN ROTOR FAST SPEED トリマー

26. DRUM ROTOR FAST SPEED トリマー

ローターのモードがファースト時の回転数を設定します。25 はホーンローター、26 はドラムローターを調節します。



- 例 -

●インジケーター、その他のジャック

27. ローターモードインジケーター

現在のローターのモードを表示します。通常、電源が入っている間は FAST、SLOW、STOP のうちどれか 1 つが点灯します。

28. 8 PIN INPUT 端子

8 ピン仕様の機器を接続するための入力端子です。この端子に入力されたステーションナリー音声は、7 及び 8 の STATIONARY OUT 端子からは出力されません。

29. FOOT SW 端子

プッシュオンタイプのリフットスイッチ（別売 FS-9H）の接続端子です。本機のモードをフットスイッチで切り替える場合に使用します。短く踏むとスローとファーストとが切り替わり、長く（1.5 秒以上）踏むとストップに切り替わります。



音量に関するご注意

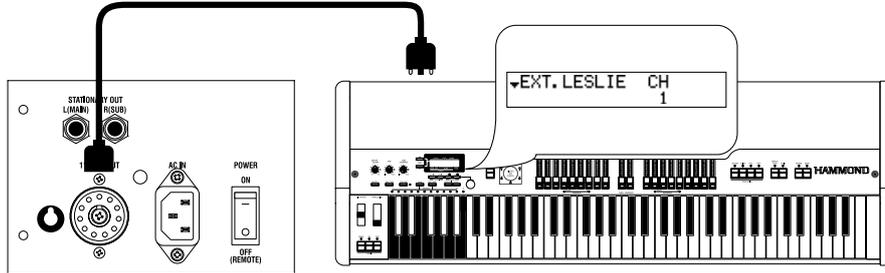
スピーカーユニットに過大な入力に加え、音が歪んだ状態では使用しないでください。スピーカーユニットが発熱し、破損の原因になります（これによる修理は、保証の対象外です）。この場合、[VOLUME] つまみをスピーカーユニットの音が歪まない位置まで反時計回りに回してください。歪んだ音がスピーカーユニットによるものか判別が難しい場合は、[TUBE DRIVE] つまみを "TUBE OFF" 位置に設定し確認してください。

接続例と初期設定

● 11 ピンレスリー端子付き 1 チャンネルモデル

ハモンド該当機種：New B-3, New C-3, B-3P, B-3M (Ultimo), XK-3 /3C(NOTE 1), XK-2, XB-2, XB-5

NOTE 1: XK-3, XK-3C は工場出荷時で 1 チャンネルに設定されています。



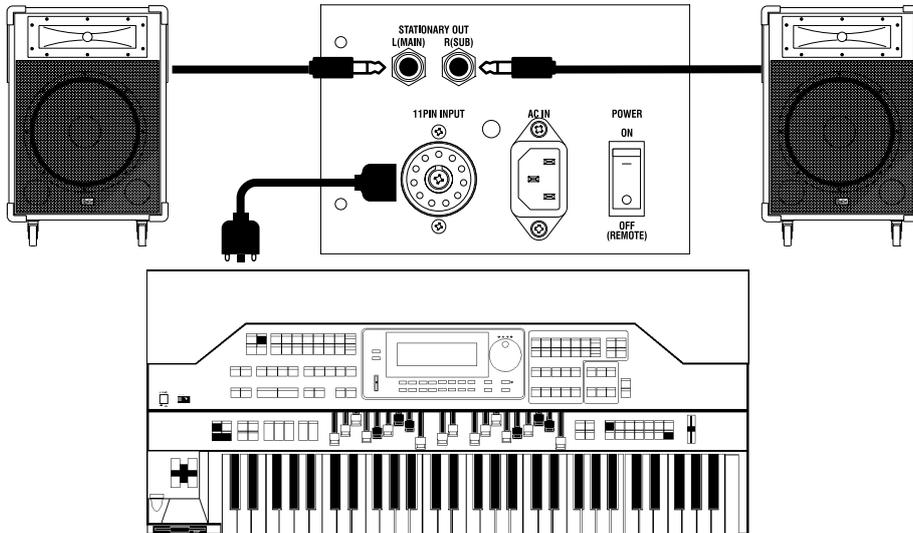
Steps:

1. オルガンの電源スイッチは切っておきます。
2. 本機の [POWER] スイッチを “OFF (REMOTE)” にしておきます。
- 注意：リモート機能を正常に動作させるため、オルガンの電源スイッチを入れる前に電源コードを接続してください。
3. 別売の 11 ピンレスリーケーブル (LC11-7M) を接続します。
4. [VOLUME] は目盛 3 付近にします。[TUBE DRIVE LEVEL] は左いっぱいにして “TUBE OFF” にします。
5. オルガンの電源スイッチを入れます。少し遅れて本機の電源が入りローターモードインジケータが点灯します。
6. オルガンのレスリー (SLOW/FAST) 切替えスイッチを操作して本機のローターモードインジケータ (SLOW, FAST) が切り替わると同時にローターの回転が変化することを確認します。
7. オルガンを発音させ最大音量時に本機が適正な音量になるよう [VOLUME] を調整します。

● 11 ピンレスリー端子付き 3 チャンネルモデル

ハモンド該当機種：XE-1, XT-100, XH-200, XB-3, XC-3, XB-3M, XC-3M, 926, 935, XK-3/3C (NOTE 2)

NOTE 2: レスリーチャンネルを 2or3 チャンネルに切り替えた場合。

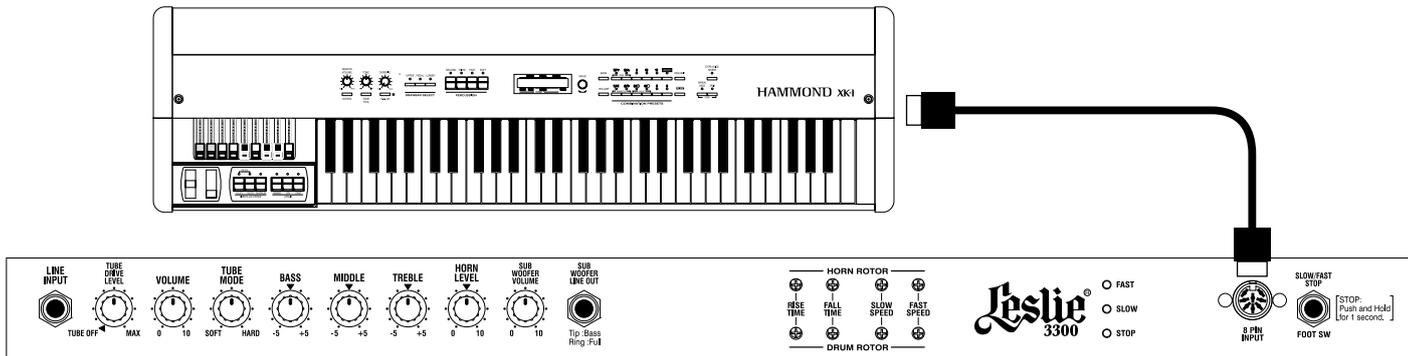


Steps:

1. オルガンの電源スイッチは切っておきます。
2. 本機の [POWER] スイッチを “OFF (REMOTE)” にしておきます。
3. 別売の 11 ピンレスリーケーブル (LC11-7M) を接続します。
4. STATIONARY OUT L, R にパワードスピーカー (レスリー 2121 を推奨) を接続します。
5. [VOLUME] は目盛 3 付近にします。[TUBE DRIVE LEVEL] は左いっぱいにして “TUBE OFF” にします。パワードスピーカーの [VOLUME] はほんの少し (目盛 1 ~ 2 程度) 上げておきます。
6. オルガンの電源スイッチを入れます。少し遅れて本機の電源が入りローターモードインジケータが点灯します。
7. オルガンの [レスリー (SLOW/FAST)] 切替えスイッチを操作して本機のローターモードインジケータ (SLOW, FAST) が切り替わると同時にローターの回転が変化することを確認します。
8. オルガンの [レスリー ON] スイッチを ON にしてドローパーを発音させます。このとき演奏上の最大音量時に本機が適正な音量になるよう本機の [VOLUME] を調整します。
9. オルガンに [LESLIE BRAKE] スイッチがあるモデルはこれを “OFF” に、[OFF MODE] パラメータがあるモデルは “THROUGH” にしておきます。ドローパー音を発音させたままオルガンの [レスリー ON] スイッチを “OFF” にします。その結果本機から出ていたドローパー音は、パワードスピーカーに切り替わることを確認します。
10. [レスリー ON] スイッチを切り替えて “ON” と “OFF” が同じ音量になるようにパワードスピーカーの [VOLUME] を調節します。

● 8ピンレスリー端子付 1チャンネルモデル

ハモンド該当機種：XB-1, XK-1, XM-1, XM-2



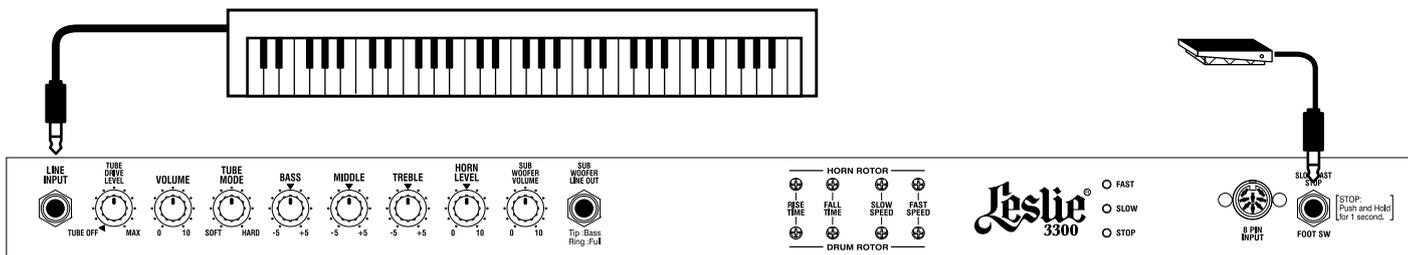
Steps:

1. 別売のレスリー 8 ピンケーブル (LC8-7M) を接続します。
 2. 本機の [VOLUME] は目盛 3 付近にします。
 3. オルガンの電源スイッチを入れます。
 4. 本機の [POWER] スイッチを "ON" にします。
- 注意：8 ピンケーブル使用時はリモート機能は働きません。
5. オルガンの [レスリー (SLOW/FAST)] 切替えスイッチを操作して本

機のローターモードインジケータ (SLOW, FAST) が切り替わりと同時にローターの回転が変化することを確認します。

6. オルガンを発音させ最大音量時に本機が適正な音量になるよう [VOLUME] を調整します。

● レスリー端子を持たないモデル



Steps:

1. 市販の標準オーディオケーブルでオルガンの LINE OUT 端子と本機の LINE INPUT 端子を接続します。
2. フットスイッチ FS-9H (又はプッシュオンタイプの同等品) を FOOT SW 端子に接続します。
3. 本機の [VOLUME] は 3 付近にします。
4. オルガンの電源スイッチを入れます。
5. 本機の [POWER] スイッチを "ON" にします。
6. 本機のローターモードインジケータが点灯しローターが回り始め

ます。

7. フットスイッチを踏むたびにローターモードインジケータの SLOW, FAST が切り替わり、同時にローターの回転が SLOW, FAST, SLOW と変化することを確認します。さらにフットスイッチを 1.5 秒以上踏みつづけるとローターはストップすることを確認します。
8. オルガンを発音させ最大音量時に本機が適正な音量になるよう [VOLUME] を調整します。

注意：ロータリーシミュレーターを内蔵したモデルで本機を使用する場合はシミュレーター機能を OFF にしてください。その方法については各モデルの取扱説明書を御参照ください。

● 各端子を同時に使用する

11 PIN INPUT、8 PIN INPUT、LINE IN の各端子は、以下の条件で同時に使用することができます。

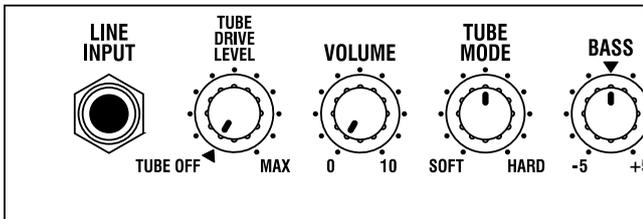
- ・ 各端子に入力された音はミックスされます。
- ・ 11 PIN INPUT、8 PIN INPUT に接続したオルガンからのモードコントロールはいずれか一方のみ可能です。モードをコントロールしないオルガンの LESLIE スイッチは BREAK

= ON (又は OFF MODE = BREAK)、LESLIE = OFF (又は STOP) にセットしてご使用ください。

- ・ モードコントロールはフットスイッチと 11 PIN INPUT、又はフットスイッチと 8 PIN INPUT とで同時に可能です。それぞれのコントロールは後の操作が優先されます。

● オルガンからの操作でオーバードライブの深さをコントロールする方法 (XK-3 の例)

1. XK-3 の [MASTER VOLUME] を中央、エクスプレッションペダルを最大にします。
2. 本機の [TUBE MODE] を中央、[TUBE DRIVE LEVEL] を反時計回りいっぱい (TUBE OFF) に設定します。



3. XK-3 を発音させ、本機の [VOLUME] を演奏時に必要な最大音量で、かつ音が歪まない位置に設定します。
4. 本機の [TUBE DRIVE LEVEL] を時計回りに回し、音が歪みだす手前に設定します。
5. XK-3 の [MASTER VOLUME] を "MAX" に設定します。ディストーションが得られることを確認します。本機の [TUBE MODE] を時計回りに回すとさらに深いディストーションが得られます。
6. 以上の設定後、エクスプレッションペダルを操作しながら演奏してみてください。エクスプレッションペダルの踏み込み量に応じ、オーバードライブの深さがコントロールできます。

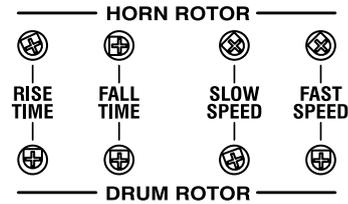
XK-3 以外のモデルでも同様の方法で上記の効果が得られます。ステップ 1 の [MASTER VOLUME] の位置は、中央以外の位置が良い場合もあります。お好みの変化量が得られる位置をお探してください。

注意： 極端に深いオーバードライブをかけた場合は、エクスプレッションペダルの踏み込み量によってオーバードライブの深さがコントロールできず、常に歪んだ音になってしまいます。

● MIDDLE 及び TREBLE の効果的な使用法

本機のホーンローターの周波数特性は、従来のモデル (122 など) に準じておりますが、[MIDDLE] つまみをマイナス方向に、[TREBLE] つまみをプラス方向に設定することにより、より平坦な周波数特性を得ることができます。

● 工場出荷時のトリマー設定位置



	RISE TIME	FALL TIME
HORN ROTOR	2.5 sec.	2.5 sec.
DRUM ROTOR	8 sec.	8 sec.

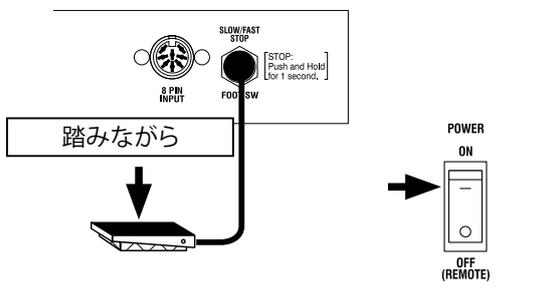
上記トリマーの設定位置は製品ごとにややばらつきがありますので、目安としてください。

回転数の調整については次ページをご参照ください。



回転数を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で行ってください。

1

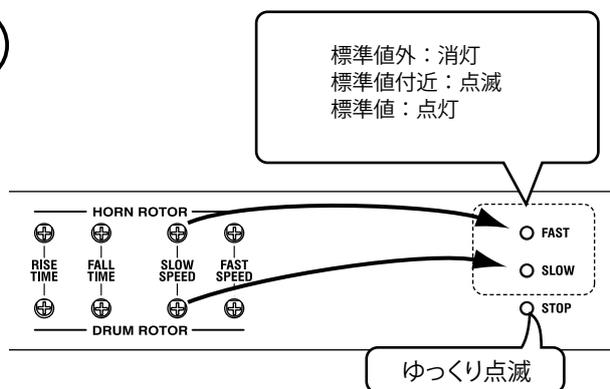


調整プログラムを起動します。FOOT SW 端子にフットスイッチを接続し、フットスイッチを踏みながら [POWER] スイッチを入れ、フットスイッチを約 4 秒踏み続けます (STOP ランプがローターの回転数に応じて点滅します)。

SLOW と FAST のランプとトリマーを使って標準回転数に調整することができます。

調整プログラムは電源を切るまで続きます。調整プログラムの動作中は 11PIN INPUT、8PIN INPUT 各端子でのモードコントロールはできません。

2



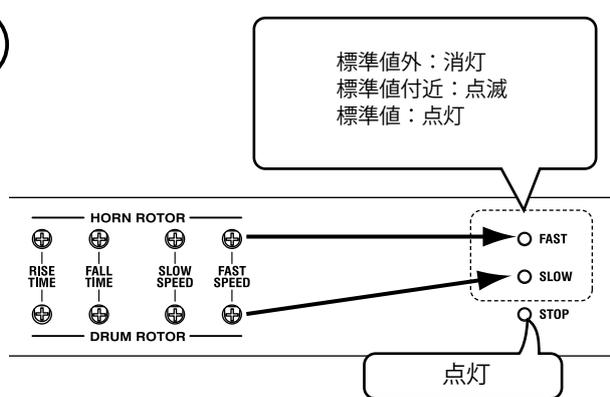
スロー回転数の調整をします。

STOP ランプがゆっくりと点滅している状態で、HORN 及び DRUM ROTOR の [SLOW SPEED] トリマーを回し、回転数を標準値に調整します。ホーンローターの回転数が標準値 (約 40rpm) になると FAST ランプが点灯します。

ドラムローターの回転数が標準値になると SLOW ランプが点灯します。

回転数が標準より遅くても速くても各ランプは消灯し、標準値に近づくにつれ、ランプの点滅が速くなります。

3



ファースト回転数の調整をします。

スロー回転時にフットスイッチを 1 回踏みます。ファーストモードに切り替わり、回転数が定速に達し、STOP ランプが点灯に変わるまで (約 10 秒) お待ちください。

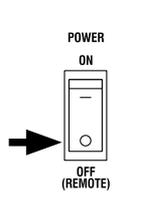
HORN 及び DRUM ROTOR の [FAST SPEED] トリマーを回し、回転数を標準値に調整します。

ホーンローターの回転数が標準値 (約 400rpm) になると FAST ランプが点灯します。

ドラムローターの回転数が標準値になると SLOW ランプが点灯します。

回転数が標準より遅くても速くても各ランプは消灯し、標準値付近になると点滅します。

4



[POWER] スイッチを切ります。

サービスについて

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますので、所定の事項の記入後、記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。

保証期間はご購入日より1年間です。保証書の記載内容によりご購入販売店が修理いたします。その他、詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについてご不明の場合は、ご購入の販売店またはもよりの営業所にお問い合わせ下さい。